

親は子どもの応援団

対 象：小学生の保護者

学級懇談会 学校説明会

時 間：40～50分

PTA 総会 家庭教育学級

ねらい：「家庭学習スタンダード」についての理解を深め、家庭学習をはじめとする家庭での親の役割について再考することができるようにする。

進行上の留意点：「～しなさい」ではなく、子ども自身が考えて行動できることに保護者が着眼できるように進めていく。

準備物：「家庭学習スタンダード」リーフレット（ふくしまの「家庭学習スタンダード」で検索！）
2色の付箋、模造紙

その他：始まる前に、「家庭学習スタンダード」について、説明を済ませる。

ファシリテーターは 【※校長・学級担任など】	時 間 形 態	参 加 者	※留意点 ・準備物
1 始まりの会 ・アイスブレイク ・自己紹介	5 (一斉)	アイスブレイクや自己紹介を通して、気持ちをほぐす。	※短時間で行う
2 「親には3つの役割があるとされています。1つは、『ペースメーカー』2つめは、『サポーター』3つめは『ファシリテーター』です。 皆さんは、どの役割をうまく果たせていると思いますか、さらにどの役割をもっと果たしたいと思いますか？」	5 (一斉) 10 (個人) 10 (一斉)	説明を聞き、3つの役割について理解する。 2色の付箋にまとめ、書いたら大きい模造紙に貼る。 全体で、フリートークングで意見を交流する。	※3つの役割について掲示する。 ・大きい模造紙
3 「家庭学習スタンダード」とのつながりについて簡単に説明する。 ※校長、研修主任、学習担当、担任	5 (一斉)	3つの役割とどう結びついているのかを考えながら、説明を聞く。	
4 「今日からやってみようとお子さんに伝えたいことを考えましょう。」	5 (個人)	押しつけにならないようなメッセージを子どもに作成する。	
5 終わりの会 ・振り返り	5 (一斉)	振り返りをシェアする。	

※ペースメーカー

学習を促したり、生活環境を整えたりすることで、規則正しい学習や生活の習慣形成を支援すること

※サポーター

子どもが学習から逃げたくなったり、自信をなくしたりした時に、アドバイスしたり、話し相手になったりして、心の支えになること

※ファシリテーター…ここでは、家庭学習や家庭での生活をよい方向に導く人

教材の準備や学習スペースの確保、静寂な時間の保障などの条件整備を通して、良好な学習環境や生活環境を構成すること

(参考) VIEW21〔小学版〕2013Vol.3

「家庭学習を習慣化することで育つ『自己マネジメント力』を生涯の宝に」

—早稲田大教職大学院教授 田中博之氏 より—

<メッセージを書こう>

- | | | |
|---|--|-------------------------------|
| 1 | 〇〇な お子さんの名前 | 例：いつもがんばっている 太郎へ |
| 2 | まず、ほめる！ | 例：苦手な漢字の練習をコツコツ、すごいね。 |
| 3 | 〇〇をしてみたら？と提案 | 例：どうしても間違えちゃう漢字は大きく書いてはって見たら？ |
| 4 | 応援しているよ！と励まし
提案について、お子さんがどう考えるか、話をしてみるといいですね。 | 例：きっと、苦手は克服できるよ。 |

----- き り と り -----

